民国連携の実現に向けたケーススタディ会議について

令和 元年６月 14 日
広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、平成 28 年度から国有林と国有林に隣接する民有林との協調施業、協調販売、路網の相互利用など民国連携した取組の実現に向けたケーススタディ会議を設け、これまで様々な活動を行ってきました。6 月 13 日、神石高原町、神石郡森林組合、広島県森林保全課・林業課、広島県東部農林水産事務所及び広島森林管理署、広島北部森林管理署の関係者が出席し、今年度第１回目の会議を行いました。

広島北部森林管理署長の挨拶

会議では、昨年度の活動報告に続き、今年度関係者が連携して取り組む活動について検討しました。具体的には、民国連携の実現に向けた課題の整理と、それらの解決に向けた意見交換を行ったほか、ドローンの新たな活用に向けた現地検討会、喫緊の課題であるニホンジカ対策など、多岐にわたる分野について議論しました。

活発な意見交換が行われました

ケーススタディ会議では、隣接する民有林と国有林が連携した取組を展開していくことで、林業の低コスト化が図られるほか、地域の森林・林業の再生に向けた共通する課題について、民国が連携して、その課題解決に効率的に取り組むことが期待されています。広島北部森林管理署では、このような民国連携した取組の成果について､随時発信することで、成果の民有林への定着についても、引き続き積極的に取り組んでいくこととしています。